

## 第1号議案 令和元年度事業報告書、財務諸表の承認について

### 令和元年度事業報告書 (平成31年4月1日から令和2年3月31日)

#### 1. 事業概要

畜産を取り巻く状況は、畜産物生産に関しては、全国的には豚におけるCSF（豚熱）の感染による影響が出たものの、本県においては各畜種とも概ね順調に推移した。

一方経営的には、配合飼料や生産諸資材及び配送経費等が高止まり傾向の中で、前半は卵価の前年度割れが続くとともに豚価も軟調であったが、後半においては12月に牛枝肉価格の大幅な下落に始まり、年が明けて新型コロナウイルス感染症の影響が出始めてからは、外食の縮小により牛枝肉価格の継続的な低迷を受けて子牛価格も低下傾向となり、2月末の学校の休校要請以降は、酪農乳業では学校給食用牛乳の需要が無くなることによる影響等、一部畜種を除いて価格の低下圧力が強まり、経営環境は極めて厳しい状況となった。

このようななか、当協会においては肉用子牛生産者補給金事業、肉用牛肥育経営安定特別対策事業などの経営安定対策事業を的確に実施するとともに、他団体との連携を密にしながら畜産経営安定のための各種支援事業にも取り組んだ。

また、家畜伝染病対策として、日常的な衛生管理の強化や農場の清浄性の維持を図るための取り組みについて、関係団体との連携を強化しつつ関係事業の実施に努めた。

一方、厳しい財政状況を反映した補助事業予算の縮小や事務費の削減に対し、事業がより効果的・効率的なものとなるよう努めるとともに、引続き新規事業の取り組みや経費の抑制を進めた。令和元年度における各種事業の具体的な実施状況は以下のとおりである。

#### 2. 事業の実施状況

##### I. 法人運営管理

###### 1. 総会

###### (1) 令和元年度定時総会

開催日・場所 令和元年6月28日（金） 島根JAビル

###### 議案

第1号議案 平成30年度事業報告書、財務諸表の承認について

第2号議案 役員辞任に伴う補欠選任について

第3号議案 その他

###### (2) 令和元年度第1回臨時総会

開催日・場所 令和元年7月30日（火） 島根JAビル別館

###### 議案

第1号議案 役員辞任に伴う補欠選任について

###### (3) 令和元年度第2回臨時総会

開催日・場所 令和2年3月27日（金） 島根JAビル

###### 議案

第1号議案 令和2年度事業計画および収支予算について

第2号議案 生産者積立金融事業資金の借入れについて

第3号議案 その他

付帯決議

## 2. 理事会

### (1) 第1回理事会

開催日・場所 令和元年6月5日(水) 島根JAビル  
第1号議案 平成30年度事業報告書、財務諸表の承認について  
第2号議案 令和元年度肉用牛経営安定対策補完事業実施要領の制定について  
第3号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の業務対象年間途中における令和元年度の返還について  
第4号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会と理事との契約の承認について  
第5号議案 役員の前辞任に伴う補欠選任について  
第6号議案 令和元年度定時総会の開催について  
第7号議案 その他  
付帯決議

### (2) 第2回理事会 (書面決議)

開催日・場所 令和元年7月11日(木) 島根JAビル別館  
議案  
第1号議案 役員の前辞任に伴う補欠選任について  
第2号議案 令和元年度第1回臨時総会の開催について

### (3) 第3回理事会

開催日・場所 令和元年7月30日(火) 島根JAビル  
議案  
第1号議案 会長及び副会長の辞任に伴う補欠選定について  
第2号議案 その他

### (4) 第4回理事会 (書面決議)

開催日・場所 令和元年9月13日(金) 島根JAビル別館  
議案  
第1号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業実施要領の制定について

### (5) 第5回理事会 (書面決議)

開催日・場所 令和2年2月6日(木) 島根JAビル別館  
議案  
第1号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る業務規程の一部改正について  
第2号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る肉用子牛1頭当たりの生産者負担金額の決定について

### (6) 第6回理事会

開催日・場所 令和2年3月9日(月) 島根JAビル  
議案  
第1号議案 令和元年度収支補正予算について  
第2号議案 令和2年度事業計画および収支予算について  
第3号議案 生産者積立金融資産事業資金の借入れについて  
第4号議案 令和2年度役員報酬の決定について

- 第5号議案 令和元年度第2回臨時総会の開催について
- 第6号議案 就業規則の一部改正について
- 第7号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る事務委託契約の締結について
- 第8号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る手数料について
- 第9号議案 その他
- 報告事項 肉用子牛生産者補給金制度における「特別の積立金」の取崩状況について

### 3. 監査会

#### (1) 平成30年度監査会

開催日・場所 令和元年5月24日（金） 島根JAビル別館

監査内容 平成30年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、財産目録について監査を受け、適正なものと認められた。

### 4. 会員の状況

区分	期首	入会	退会	期末
正会員	14	0	0	14
賛助会員	0	0	0	0
計	14	0	0	14

## II. 公益目的事業

### 1. 畜産農家に対する経営の支援・指導のための事業

#### (1) 畜産経営支援・指導事業

##### ア. 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会）

実績額 6,480千円

畜産経営技術高度化推進事業をはじめとする畜産経営技術指導等を推進するとともに、畜産関係機関団体との連携を図りながら、畜産振興支援業務等を実施し、地域畜産の振興を図った。

##### イ. 畜産経営技術高度化推進事業（島根県）

実績額 75千円

専門家支援チームを設置し、個別経営の支援指導を行った。

<専門家支援チームの設置>

総括畜産コンサルタント	畜産コンサルタント	非常勤畜産コンサルタント
2人	0人	2人

<畜産経営技術の総合支援指導の実施>

区分	生産技術支援指導	経営技術支援指導	計
酪農経営	1件	1件	実1件（延2件）

##### ウ. 畜産特別資金等推進指導事業（(公社)中央畜産会）

実績額 2,359千円

畜産特別資金等借受者の、経営合理化および改善の進捗状況等を把握するための現地調査および助言・指導等を行った。

区分	回数	備考
都道府県支援推進協議会の開催	1	・7名出席
経営改善計画達成指導	13	・借受者7戸に対し、延13回で延71名が助言・指導
借入者の経営改善のための指導資料作成	10部	・指導に係る現地調査結果等

##### エ. 畜産生産性向上促進総合対策事業（独自事業）

実績額 525千円

相談窓口を開設することによって、生産者を直接支援することに併せ、消費者を対象とした調理教室を開催することによって、生産者の間接支援を行う取り組みを行った。また、馬事畜産振興を図るため協賛レースの実施に併せ「しまね産和牛肉」のPRを行った。

<相談窓口の開設>

区分	回数	備考
肉用牛肥育経営	1	・肉用牛肥育経営者に対して、独立行政法人家畜改良センターから提供のあった肉用牛枝肉情報をつないだ。

<調理教室の開催>

区 分	回数	備 考
「しまねの畜産物」を使用しての調理教室	1	参加者22名
レシピを活用した普及啓発	1	消費者宅200戸に配布

<馬事畜産振興の実施>

区 分	回 数	備 考
「高知けいば」における協賛レース	1	島根県畜産振興協会協賛 「しまね産和牛肉」特別競走
「川崎けいば」における特別協賛レース	1	「ご縁の国しまね」特別協賛レース (黒毛のふるさと“しまね和牛”賞)

(2) 農業機械・装置貸付事業等指導事業

ア. 畜産近代化リース貸付事業指導等事業 ((公財)畜産近代化リース協会)

実績額 183千円

公益財団法人畜産近代化リース協会から生産者に対して貸し付けが行なわれている設備・機械・器具および車輛について、利活用・保守管理状況の確認調査等を行うための台帳の整備を行った。

区 分	生産者(最終借受者)	農業協同組合(再貸付団体)
台帳整備	7	5

イ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 1,730千円

1) 県内の各畜産クラスター協議会の中心的経営体に取り組む収益力強化のための機械導入(リース等)事業について、事業の推進業務や事業申請書等の取りまとめ、県との協議窓口業務等を行った。

参加要望協議会数	参加要望取組主体数	参加申請取組主体数	参加申請事業費
6	8	延9	37,682千円

2) 導入された機械装置の取組主体、リース事業者による検収作業を補完するため、現地確認作業を実施した。

協議会数	取組主体数	機械装置数
2	2	2

ウ. 畜産経営体生産性向上対策事業(ICT等機械装置等導入事業)((公社)中央畜産会)

実績額 81千円

労働負担軽減事業及び後継牛預託育成対策整備事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進会議の開催及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区 分	回 数	備 考
事業推進会議の開催	1	
事業参加要望の取りまとめ	2	

エ. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（(公社)中央畜産会)

実績額 145千円

労働負担軽減事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進会議の開催及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区 分	回 数	備 考
事業推進会議の開催	1	
事業参加要望の取りまとめ	2	

2. 畜産経営安定のための補給金等の交付や生産活動の支援等のための事業

(1) 畜産物価格安定対策事業

ア. 肉用子牛生産者補給金交付事業（(独)農畜産業振興機構・生産者手数料)

実績額 26,211千円

肉用子牛の価格が低落し、一定の基準価格を下回った場合に、生産者に対し補給金を交付し肉用子牛生産の安定を図る事業である。

平成31年1月～3月期は全ての品種において平均売買価格が保証基準価格、合理化目標価格を上回ったため補給金の交付はなかった。平成31年4月～令和元年12月の各四半期にはその他の肉専用種において平均売買価格が保証基準価格を下回り生産者補給金の発動があったが、本県においては該当する子牛がいなかったため交付はなかった。

肉用子牛保証基準価格及び合理化目標価格は、T P Pの発効により平成30年12月30日以降について改定が行われたが、その後消費税率引上げに伴い、令和元年10月1日以降について再度改定が行われた。

1) 生産者積立金造成内訳

単位：円

品種区分	契約頭数	積立単価	積立額	積立額（負担区分）		
				国	県	生産者
黒毛和種	6,788	1,200	8,145,600	4,072,800	2,036,400	2,036,400
その他の肉専用種	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	745	6,400	4,768,000	2,384,000	1,192,000	1,192,000
交雑種	1,678	2,400	4,027,200	2,013,600	1,006,800	1,006,800
合 計	9,211	—	16,940,800	8,470,400	4,235,200	4,235,200

(注) 1. 契約頭数及び積立造成時期は、平成31年1月～令和元年12月

2. 契約生産者の1頭当たり積立金額

黒毛和種：300円、その他の肉専用種：3,100円、乳用種：1,600円、交雑種：600円

2) 特別の積立金

<旧高騰時積立金>

単位：円

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		4,825,827	0	0	0	4,825,827
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	314	0	0	0	314
	小計	314	0	0	0	314
減少	普通財産へ繰入	4,072,800	0	0	0	4,072,800
	小計	4,072,800	0	0	0	4,072,800
期末残高		753,341	0	0	0	753,341

<償還特別積立金>

単位：円

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
区分						
	期首残高	0	9,778,273	6,551,817	23,302,099	39,632,189
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	0	981	520	1,153	2,654
	小計	0	981	520	1,153	2,654
減少	償還円滑化積立金繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
	期末残高	0	9,779,254	6,552,337	23,303,252	39,634,843

3) 償還円滑化積立金の造成状況

なし

4) 生産者補給交付金交付状況

単位：円

区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計		
契約生産者数(名)		—	—	—	—	1,029		
契約登録頭数(頭)		6,788	0	745	1,678	9,211		
保証基準価格		1～9月 531,000	1～9月 314,000	1～9月 161,000	1～9月 269,000	—		
		10月～12月 541,000	10月～12月 320,000	10月～12月 164,000	10月～12月 274,000			
		1～9月 421,000	1～9月 249,000	1～9月 108,000	1～9月 212,000			
合理化目標価格		10月～12月 429,000	10月～12月 253,000	10月～12月 110,000	10月～12月 216,000	—		
		平均売買価格	793,300	337,600	246,000		467,900	—
		H31 1～3	生産者補給金単価	—	—		—	—
		交付対象頭数	—	—	—	—		
		生産者補給金交付額	—	—	—	—		
H31 4～ R元 6		平均売買価格	781,500	280,800	239,100	447,400	—	
		生産者補給金単価	—	33,200	—	—	—	
		交付対象頭数	—	0	—	—	0	
		生産者補給金交付金	—	0	—	—	0	
R元 7～9		平均売買価格	764,300	257,400	228,100	420,000	—	
		生産者補給金単価	—	56,600	—	—	—	
		交付対象頭数	—	0	—	—	0	
		生産者補給金交付額	—	0	—	—	0	
R元 10～ 12		平均売買価格	759,900	294,100	240,300	419,600	—	
		生産者補給金単価	—	25,900	—	—	—	
		交付対象頭数	—	0	—	—	0	
		生産者補給金交付額	—	0	—	—	0	
合計		交付対象頭数	—	0	—	—	0	
		生産者補給金交付額	—	0	—	—	0	

イ. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (独)農畜産業振興機構・生産者手数料)

実績額 11,200千円

肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合に、契約生産者に対して、その差額の90%を交付金として交付する。交付時にはその4分の3を国の交付金から、4分の1を生産者負担金から交付する。全品種に対し総額301,068千円余の交付を行った。

< 交付金単価(1頭あたり単価)の推移 >

単位：円

	肉専用種	交雑種	乳用種
H31. 4	—	—	42,722.1
R1. 5	10,890.9	—	30,806.1
R1. 6	—	—	31,029.3
R1. 7	—	—	35,702.1
R1. 8	49,714.2	—	26,905.5
R1. 9	62,898.3	—	28,826.1
R1. 10	67,889.7	15,271.2	48,722.4
R1. 11	19,306.8	356.4	53,726.4
R1. 12	13,681.8	—	63,042.3
R2. 1	70,898.4	—	47,339.1
R2. 2	115,722.9	24,121.8	39,319.2
R2. 3	159,396.3	116,715.6	54,562.5

< 令和元年度の契約生産者数及び交付金交付頭数等 >

単位：頭・円

区 分	契 約 生産者数	事務委託 団 体 数	交付金交付	
			頭 数	金 額
肉専用種	30	3	3,936	242,319,245
交雑種			741	27,039,203
乳用種			731	31,710,407
計			5,408	301,068,855

< 令和元年度の基金積立額 >

単位：円

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
生産者	104,944,000	50,524,000	11,761,000	167,229,000

ウ. 肉豚経営安定交付金制度 ((独)農畜産業振興機構)

実績額 237千円

県内の養豚経営者に対し肉豚経営安定交付金制度について周知を行った。

< 事業参加戸数 >

契 約 区 分	契約生産者数
個 人	0
特例有限会社	4
合 計	4

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業

ア. 肉用牛経営安定対策補完事業 ((独)農畜産業振興機構)

(地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業)

実績額 49,591千円

地域の中核的担い手が繁殖雌牛を増頭した場合や、生産農家が互いに助け合う肉用牛ヘルパー活動や条件不利地である離島での肉用牛生産などに対し補助金を交付することにより、



各地域の自主性と創意工夫による生産活動への支援を行った。  
24団体に対し、総額44,898千円余を交付した。

<事業の内容と事業費>

単位：円

区 分	事業費		事業実施集団
		うち補助金	
1. 肉用牛生産基盤強化対策事業			
(1) 中核的担い手育成増頭推進	24,080,000	24,080,000	J Aしまね隠岐地区本部 他7集団
(2) 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	0	0	
(3) 優良繁殖雌牛導入支援	0	0	
(4) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備	6,693,335	2,946,818	
(5) 肉用牛ヘルパー活動推進	17,087,178	6,775,602	やすぎ肉用牛ヘルパー組 合 他11集団
(6) 特定地域肉用牛広域処理円滑化支援	301,277	200,823	隠岐島後・島前死亡牛協議会
(7) 肉用牛振興推進指導	3,396,052	3,396,052	島根県畜産振興協会
2. 地域の特色ある肉用牛振興対策事業			
(1) 地方特定品種等の振興	0	0	
(2) 離島・山振地域肉用牛振興	10,894,450	10,894,450	J Aしまね (畜産課)
(3) 肉用牛振興推進指導	1,296,757	1,296,757	島根県畜産振興協会
合 計	63,749,049	49,590,502	

(3) 和牛改良支援事業

ア. 島根県肉用牛とも補償制度 (島根県)

実績額 211千円

種雄牛造成を組織的、効率的に推進するため、新規種雄牛の交配と産子取得及び産肉能力調査に協力した生産者に対して総額11,574千円の助成金を交付した。

(内訳 県補助金6,361千円 生産者負担金(とも補償財源)5,213千円)

3. 家畜・畜産物の衛生対策等に係る支援・指導のための事業

(1) 家畜防疫・衛生対策事業

ア. 生産農場衛生対策事業 (農林水産省)

実績額 6,670千円

牛ヨーネ病及び牛白血病、BVD-MDの感染拡大防止対策、伝染性疾病の発生・流行防止のための予防接種を実施し、家畜衛生対策の強化を図った。

1) ヨーネ病対策

<令和元年度ヨーネ病とう汰推進費交付状況>

実施地域	交付頭数	検査機関
邑南町	1	家畜保健衛生所
大田市	1	

2) EBL (牛白血病) 感染拡大防止対策

<令和元年度牛白血病検査実施状況>

実施地域	検査頭数	検査機関
松江市	30	家畜保健衛生所
安来市	46	
出雲市	253	

飯 南 町	5	
雲 南 市	32	
大 田 市	96	
浜 田 市	875	
美 郷 町	152	
益 田 市	2,785	
津 和 野 町	98	
計	4,372	

### 3) BVD-MD対策

<令和元年度P I牛のとう汰費交付状況>

実施地域	交付頭数	検査機関
江 津 市	1	家畜保健衛生所
安 来 市	1	

### 4) 伝染病発生・流行防止のための防疫促進

組織的な対応が発生予防に有効な吸血昆虫媒介疾病の予防接種推進、家畜自衛防疫推進会議を開催した。(接種実績は<令和元年度主要予防注射実施実績>参照)

## イ. 家畜伝染病発生予防事業 (独自事業)

実績額 40,285千円

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、清浄性の維持を図るため予防接種を推進した。

### 1) 家畜自衛防疫推進会議の開催

家畜自衛防疫事業の円滑な推進を図るため、関係機関、家畜自衛防疫団体、指定獣医師等の出席のもと推進会議を開催した。

区 分	開催時期	開催場所	参集範囲
家畜自衛防疫地域推進会議 (2回)	R 2. 3	出雲市、浜田市	家畜保健衛生所、自衛防疫団体 (JA、市町村)、農業共済組合、獣医師会、指定獣医師他

### 2) 広報事業

家畜衛生対策の普及啓発と情報提供のため、以下の広報事業を実施した。

- ア) 生産者及び関係機関に各種衛生関係パンフレット、家畜衛生カレンダー等の配布
- イ) 防疫指導機関及び指定獣医師に動薬手帳、馬の健康手帳を配布

### 3) 予防注射の実施

家畜伝染病の発生、流行防止のため家畜自衛防疫団体及び指定獣医師等と連携し、以下の予防注射を行なった。

<令和元年度主要予防注射実施実績>

予防注射の種類	実施頭数	前年対比(%)
牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎)	6,358	106
牛イバラキ病	1,842	98
牛ヘモフィルス感染症	4,880	99
牛アカバネ病 ※	613	112
牛異常産3種混合 ※	1,335	53
牛異常産4種混合 ※	10,038	130
馬3種混合、馬インフル、日本脳炎	129	85

参考：※印は生産農場衛生対策事業対象疾病

4) 飼養衛生管理基準啓発普及支援事業

家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」の啓発普及を支援することにより、生産段階における防疫措置・体制の一層の強化・推進を図るため、以下の事業を実施した。  
 ア) PEDに対する農場衛生レベルの向上を図るため導入した動力噴霧機の確認業務を行った。

ウ. 家畜防疫・衛生指導対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 2,139千円

1) 地域自衛防疫推進事業

家畜伝染病発生時の対応等を支援するため、防疫演習を行うと共に飼養衛生管理基準に基づく防疫対策の取組等の検討を実施した。

ア) 地域自衛防疫強化推進対策

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効活動方策等の検討会の開催(年2回)

イ) 地域自衛防疫対策の推進(防疫演習の共催)

豚コレラ及び口蹄疫の防疫対策として、県が開催する研修会並びに防疫演習を支援し、防疫体制の整備・定着を図った。(防疫研修会:1回、防疫演習:1回)

2) 地域農場HACCP認証支援事業

生産農場での衛生管理システム構築、内部検証及び継続的な改善の実施など農場HACCPの取組みを推進し、農場HACCP認証制度の普及、促進を図った。

ア) 普及推進協議会等開催

①普及推進協議会

地域における畜産関係団体、農場HACCP関係者による普及推進のための方策について検討

②地域取組促進活動

地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知などの活動

・農場HACCP認証制度研修会

・農場HACCP認証制度取組調査

イ) 農場HACCP認証構築指導推進事業

①構築指導意見交換

②構築指導事業

3) 地域推進事務費

上記ウ.の1)及び2)の事業を円滑に推進するための事務費。

エ. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 356千円

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザ等のワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発などの取組みを行ない馬伝染性防疫推進の徹底に努めた。馬防疫推進のため、地域対策検討会を開催した。

<地域対策検討会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内容
R1.7 R2.2	出雲市	県家畜衛生関係機関、JAしまね、獣医師会、県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、馬インフルエンザ等のワクチン接種推進の協議

オ. 馬飼養衛生管理特別対策事業（(公社)中央畜産会）

実績額 566千円

馬防疫推進のため、委員会及び講習会の開催と馬獣医療実態調査を実施した。

<委員会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内容
R1.7	出雲市	県家畜衛生関係機関、JAしまね、獣医師会、県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、講習会開催等の協議

<馬獣医療実態調査実施状況>

調査時期	調査戸数	内容
R1.10	8	家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理区域の設定、重要な馬伝染性疾患の認識度、地域獣医療の実態調査県下全域

<馬衛生管理技術地方講習会開催状況>

開催時期	場所	参加者	講師	講演内容
R1.11	雲南市	23	山口大学 共同獣医学部	馬の消化器疾患予防の Final goal

カ. 牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省）

実績額 2,790千円

島根県及び地区死亡牛処理協議会と連携し、死亡牛の適切な管理・輸送とBSE検査の円滑化、適正処理を推進した。

<令和元年度死亡牛適正処理実績（化製処理頭数）> 単位：頭・円

処理頭数	地区別頭数（内訳）							生産者に対する補助金交付実績
	東部	雲南	出雲	県央	石西	島前	島後	
167	26	43	35	45	14	2	2	2,009,300

備考：当該事業補助対象は96ヶ月齢以上及び96ヶ月齢未満の検査対象死亡牛

キ. 家畜防疫互助基金支援事業（(独)農畜産業振興機構、(公社)中央畜産会）

実績額 1,017千円

家畜の伝染病が発生した場合（口蹄疫、牛疫、牛肺疫、CSF及びASF）、農家への経営支援策として生産者と国で基金を造成し、生産者の経済的損失を生産者が互助補償する事業に養豚農場、各JA及び酪農組合の協力を得て本事業を推進し、生産者積立基金を造成した。

<令和元年度契約戸数・頭数及び生産者積立実績> 単位：円

畜種	飼養戸数	飼養頭数	加入者数(加入率)	契約頭数(加入率)	積立金
乳用牛	1,005	10,840	766(76.2%)	12,346(113.9%)	2,435,950
肉用牛		30,776		28,660(93.1%)	4,092,340
豚	9	41,209	6(66.7%)	36,054(87.5%)	6,295,000
計	1,014	82,825	772(76.1%)	77,060(93.0%)	12,823,290

(注) 飼養戸数及び飼養頭数：平成31年2月1日調査

ク. 島根県消費・安全対策交付金事業(農林水産省・生産者負担)

実績額 1,414千円

豚熱等の伝染性疾病の発生防除のため、農場への野生動物の侵入防止（ウイルスの侵入防止）対策として防護柵等の設置を推進し、県内養豚農場の衛生レベルの向上を図った。

(交付金651千円、生産者負担金763千円)

ケ. ASF（アフリカ豚熱）侵入防止緊急支援事業（(独)農畜産業振興機構）

実績額 5,528千円

ASFウイルスが我が国に侵入した場合にその発生防除のため、農場への野生動物の侵入防止（ウイルスの侵入防止）対策として防護柵等の設置を推進し、県内養豚農場の衛生レベルの向上を図った。（補助金5,455千円）

(2) 農場衛生管理推進事業

ア. 畜産GAP拡大推進加速化事業（(公社)中央畜産会）

実績額 301千円

日本版畜産GAPの認証取得、普及推進に係る取り組みを支援し、畜産GAPの拡大を推進する。

1) 日本版GAP指導推進支援事業

日本版畜産GAPの認証基準の知識を深めるため、認証の取得を目指す農家並びに指導を行う機関・団体等を対象とした研修会を開催した。

(3) 獣医師養成確保対策事業

ア. 獣医師養成確保修学資金貸与事業（農林水産省・島根県）

実績額 8,442千円

本県での産業動物臨床獣医師への就業を志す獣医学生に対し、獣医修学資金の貸与を行い、産業動物臨床獣医師の安定的確保を図るため、貸与希望学生を募集し、5名の学生（継続5名）に対して獣医修学資金を貸与した。

イ. 獣医師確保対策就職奨励金給付事業（島根県）

実績額 84千円

獣医師確保対策就職奨励金給付事業実施要領に基づき、県職員として採用予定の獣医師3名に対して、就職奨励金を給付した。（平成28年度基金造成費 10,000千円）

<令和元年度奨励金給付実績受給者>

単位：円

受給者就業先	人数	給付金
島根県	3	1,500,000
計	3	1,500,000

(給付金：500,000円/名)

### Ⅲ. 収益事業等

#### 収益 1 書籍販売事業

実績額 68千円

中央畜産会の月刊誌「畜産コンサルタント」その他参考となる図書の購読を斡旋した。

#### その他 1 調査事務等受託事業

##### (1) 種馬登録事業 ((公社) 日本馬事協会)

実績額 28千円

島根県農業協同組合隠岐どうぜん地区本部に対して、公益社団法人日本馬事協会の種雄馬管理の登録事務を受託実施した。

##### (2) 畜産関係団体調整機能強化事業 ((公社) 中央畜産会)

実績額 973千円

###### ア) 畜産会等支援生産者組織整備 (仲間づくり)

新型コロナウイルスの影響により実施に至らなかったが、畜産生産者の相互連携の体制強化等を図るため毎年実施している鳥取県、岡山県および島根県合同の畜産女性交流会の事前準備を支援した。

###### イ) 畜産経営相談窓口整備

生産者等からの各種相談に応じるため、職員が研修会に参加しスキルアップを図るとともに、生産者からの相談により「第11回全国モーモー母ちゃんの集い in しまね」実行委員会の構成団体として活動支援を行った。

#### その他 2 事務局事務受託事業

実績額 6,986千円

県内で活動する畜産関係団体の事務局業務を受託実施した。また、畜産団体相互の交流事業に対する支援を行った。

事務局事務受託先	
島根県牛乳普及協会	しまね畜産女性ネットワーク
島根県乳業協会	島根県死亡家畜処理推進連合協議会
島根県養鶏協会	島根県養鶏クラスター推進協議会
島根県馬事畜産振興協議会	島根県肉用牛とも補償運営委員会

主 要 処 理 事 項

年月日	処 理 事 項	場 所 等
<b>【平成31年】</b>		
4月18日	肉豚経営安定交付金制度に係る全国会議	東京(農畜産業振興機構)
4月19日	酪農労働省力化推進施設等緊急整備事業全国事業推進会議	東京(全国家電会館)
4月25日～26日	畜産特別支援資金融通事業、畜産経営体質強化資金対策事業担当者会議	東京(CIVI研修センター日本橋)
<b>【令和元年】</b>		
5月10日	酪農経営体生産性向上緊急対策事業及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備事業説明会	出雲市(JA出雲地区本部)
5月15日	家畜防疫互助基金支援事業に係る中央推進会議	東京(全国家電会館)
5月16日	肉豚経営安定交付金制度地域説明会	浜田市(石央文化ホール)
5月23日	島根県牛乳普及協会通常総会、島根県乳業協会通常総会	松江市(JALビル)
5月29日	会計実施検査	松江市(JALビル)
6月6日	島根県養鶏協会および養鶏クラスター推進協議会通常総会	出雲市(JAしまね本店)
6月18日	家畜防疫互助基金支援事業に係る説明会	出雲市(JAしまね営農経済本店)
6月24日	死亡家畜処理推進連合協議会通常総会	松江市(JALビル)
7月4日～5日	畜産特別資金等推進指導事業ブロック会議	広島(TKPカーテンシティ広島駅前)
7月17日	馬飼養衛生管理特別対策事業全国事業推進会議	東京(全国家電会館)
7月18日	家畜防疫・衛生指導対策事業に係る全国会議	東京(全国家電会館)
7月29日	家畜衛生対策事業(JRL)推進会議(4事業)	出雲市(ニューウェルシティ出雲)
8月1日	しまね畜産女性ネットワーク総会	出雲市(デビュー華満)
8月23日	乳和食講習会	松江市(くにびき地区本部)
8月26日	中国ブロック畜産協会等常勤役員・事務局長会議	松江市(松江ニューアークホテル)
8月29日～30日	乳和食指導者スキルアップ講習会	東京(まるごとにつぼん)
8月30日	死亡家畜処理推進連合協議会事務局長会議	出雲市(朱鷺会館)
9月17日～18日	肉用子牛生産者補給金制度近畿中国四国ブロック推進会議	香川(サンポートホール高松)
9月25日	家畜防疫研修会	大田市(男女共同参画センター)
10月2日～3日	農場HACCP審査員力量向上研修会	東京(全国家電会館)
10月4日	肉用牛経営安定対策補完事業に係る実務研修会	東京(農畜産業振興機構)
10月6日	牛乳まつりinいずも	出雲市(畜産技術センター)
10月9日	中国四国ブロック家畜畜産物衛生指導協議会	山口(山口県農業共済組合)
10月18日	家畜伝染病防疫演習	飯南町(赤名農村環境改善センター)

年月日	処 理 事 項	場 所 等
10月19日	島根県種畜共進会	松江市(中央家畜市場)
10月24日	肉用子牛生産者補給金制度に係る全国会議	東京(ヒュンセンター浜松町)
10月29日～30日	畜産経営技術指導事業に係る女性職員向け研修会	東京(TKRガーデンシティ御茶ノ水)
10月31日	農場HACCP認証制度研修会	出雲市(朱鷺会館)
11月5日～8日	中央畜産技術研修会	福島(家畜改良センター研修施設)
11月8日	JGAP認証制度研修会	出雲市(朱鷺会館)
11月11日	馬飼養衛生管理技術地方講習会	雲南市(雲南TRC)
11月14日～15日	肉用子牛生産者補給金制度に係る経理研修会	鹿児島(南日本情報処理センター)
11月26日	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業全国会議	東京(TKP御茶ノ水カンファレンス)
11月28日	農場HACCP審査員力量向上研修会	東京(全国家電会館)
11月28日	貸付事業指導等委託事業業務推進事務会議	東京(アジュール竹芝)
12月4日～5日	肉用子牛生産者補給金制度に係る業務研修会	東京(農畜産業振興機構)
12月14日	中国地区畜産協会競馬振興冠レース	高知(高知競馬場)
12月16日～17日	肉用牛肥育経営安定交付金制度中国ブロック推進会議	鳥取(ホテルマーク鳥取)
【令和2年】		
1月10日	学校給食用牛乳供給推進全国会議	東京(農林水産省)
1月23日	肉用子牛生産者補給金制度全国会議	東京(ヒュンセンター浜松町)
1月30日～31日	中央畜産会事業中央打合会及び管理責任者等研修会	東京(TKP御茶ノ水カンファレンス)
2月12日	「しまねの畜産物」調理教室	出雲市(高松コミュニティセンター)
2月13日	肉用子牛生産者補給金制度業務推進会議	出雲市(ニューウェルシティ出雲)
2月14日	家畜衛生対策事業(JRL)推進会議(3事業)	出雲市(朱鷺会館)
2月21日	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業全国推進会議	東京(AP秋葉原)
2月27日	肉用牛経営安定対策補完事業推進会議	出雲市(ニューウェルシティ出雲)
3月2日	首都圏における競馬振興(島根和牛肉PR)	神奈川(川崎競馬場)
3月10日	畜産特別資金等推進指導事業推進会議	松江市(JAビル)
3月11日～12日	家畜商講習会	松江市(島根県庁)
3月12日	家畜衛生対策事業推進会議(4事業)	浜田市(石央文化ホール)
3月13日	家畜衛生対策事業推進会議(4事業)	出雲市(ニューウェルシティ出雲)
3月18日	中国地区畜産協会競馬振興冠レース	高知(高知競馬場)